

科目名	日本語理解C (主題と構造) Japanese C: Theme and Structure						
科目担当者	清松 大 KIYOMATSU Hiroshi						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [総合教育科目 総合講座] 経営学部・経営学科 [総合教育科目 総合講座]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	<p>本科目では、文学批評や物語分析の理論を駆使しながら、小説を中心とした散文作品やマンガ、映像作品などを取りあげ、その「主題」把握の方法や「構造」のとらえ方を学んでいく。また、単に作品を「鑑賞」するだけでなく、各作品の主題や構造の分析を通して見えてくる、社会構造や歴史的背景とフィクションとの関係性などにも目を向けていく。それはすなわち、フィクションの読解や分析を通して、現実世界が抱えているさまざまな「主題」や「構造」的な問題にもアクセスしていこうとする試みでもある。そのような営みを通して、受講生各自を取り巻く「日常」や「社会」を批評的にとらえなおすための視座を養っていききたい。</p>						
授業の到達目標	<p>① 様々な作品や文章に対する鑑賞眼を養い、その主題や構造、論点などを的確にとらえられるようになる。</p> <p>② 物語分析や批評の理論と方法を学ぶことを通して、作品を取り巻く社会事象や歴史的問題などに対する批評的なまなざしを身につける。</p>						
授業計画・内容	1	イントロダクションー「主題」(テーマ)とは何か?					
	2	批評理論入門①ー物語の構造分析					
	3	批評理論入門②ー「テキスト」とは何か					
	4	構造主義理論を用いたマンガ分析ー手塚治虫と戦後日本の「主題」					
	5	批評理論入門③ー脱構築理論とイデオロギー批評					
	6	フェミニズム・ジェンダー・クィアー『舞姫』から『アナと雪の女王』まで					
	7	ポストコロナ理論で漱石を読むー『夢十夜』『第七夜』					
	8	ポストコロナ批評とオリエンタリズムーディズニーとハリウッド映画を中心に					
	9	エコ・クリティシズムの主題ー宮沢賢治からジブリ映画まで					
	10	「災害文学」の想像力ー「震災後文学」としての『想像ラジオ』					
	11	「核」をめぐる想像力①ー「原爆文学」から「核文学」へ					
	12	「核」をめぐる想像力②ー「核文学」から「原発文学」へ					
	13	現代の神話と人間ー新海誠作品の主題と構造					
	14	ポスト・ヒューマンの地平へー『GHOST IN THE SHELL/攻殻機動隊』					
	15	総括ー「ことば」と「物語」					
授業外学修 (事前学修)	・授業で扱う対象作品を事前に鑑賞しておく(毎週3時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	・受講ノートを見直しつつ、授業内で紹介する参考文献と照らし合わせて理解を深める(毎週1時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	・期末試験(レポートに変更の可能性あり) ・授業内課題等(Moodleまたは紙媒体で提出)					80% 20%	①、② ①、②
成績評価基準	<p>秀：(評点90点以上)到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点80点~89点)到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点70点~79点)到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点60点~69点)到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点60点未満)到達目標に達していない場合</p>						
教科書	特に指定しない。適宜プリント等を配布する。						
参考文献	<p>・三原芳秋・渡邊英理・鶴戸聡編『クリティカル・ワード 文学理論ー読み方を学び文学と出会いなおす』(フィルムアート社、2020年)</p> <p>・小林真大『「感想文」から「文学批評」へー高校・大学から始める批評入門』(小鳥遊書房、2021年)など</p>						
その他	「日本語理解」A・Bを履修済であることが望ましいが、必須条件ではない。						